

介護プロフェッショナル

奉優会のキャリア段位制度に内閣府も注目!!

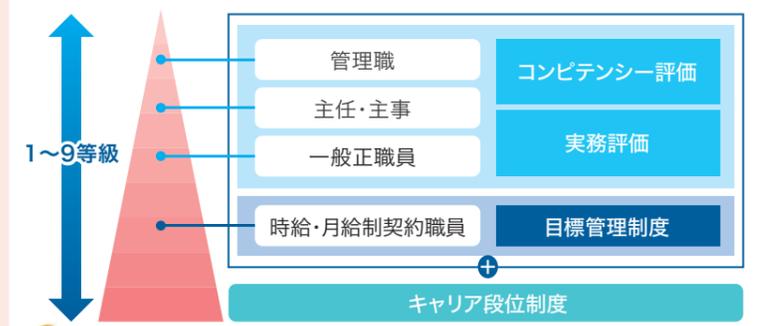
奉優会では、これまで業績数値を持たない契約職員の目標設定は事業所間でバラつきが出ている現状がありました。そこで、キャリア段位制度を導入し安定的に日常から質の高い介護サービスを提供してくれる契約職員を客観的な指標で評価し、給与に反映させています。

今年度は、新処遇改善加算Iを取得し、介護職員のさらなる賃金アップに繋がっています。上記の取組みに注目いただき、先日内閣府の皆様が現場視察に来られました。



3月11日に内閣府の方々が見察にお越しいただき、現場でキャリア段位制度についてお話させていただきました。

アセッサー修了者 76名 レベル(段位)認定者 11名



キャリア段位制度による段位取得者をステージ上で表彰・ストラップ授与

現場でのアセッサー効果インタビュー

笹幡高齢者在宅サービスセンター アセッサー 田代 さおり

職員一人ひとりの介護方法や取り組みを今まで以上に注意するようになりました。また、自分自身も評価項目を意識して対応するようになりました。職員が疑問点を質問してくれることが多くなり、日々介護技術の向上につながっていることを実感しています。



地域貢献活動 コミュニティカフェ特集

地域の防災力を高める「防災フェスタ」

開催場所：高輪公園、高輪いきいきプラザ、カフェ店内

「防災フェスタ」は、近隣町会と高輪いきいきプラザ・コミュニティカフェで共同開催している地域防災力向上を目的としたイベントです。平成23年に始まり、今年で第7回目となった4月16日の開催では、約100名と大勢の方に参加していただきました。町会をはじめ、区・消防署・消防団と協働し、起震車体験や炊き出し、防災ワークショップなど、毎年様々な内容で開催しています。コミュニティカフェでは、淹れたてコーヒーの無料サービスやAED体験等で協力しています。子どもから高齢者まで、また町会以外の方の参加も年々増えており、防災への意識が高まっていることが感じられます。

いざ災害があった時、手助けが必要な人の対応方法や自分達が普段から心がけておくべきことなど...地域と連携し、助け合う仕組みをつくるためにも、防災フェスタはかせないイベントとなっています。これからも地域づくりの拠点として、コミュニティカフェとしてできることを精力的に取り組んでいきたいと思っています。



法人最新情報

平成28年度 第9回事例研究発表会開催

平成29年2月12日(日)、大崎ブライツコアホールにて第9回事例研究発表会を開催致しました。約350名の観覧者の皆様の中、138事例の中から選りすぐられた13事例が発表され、最優秀賞には、久末デイサービスセンター「3年目に求められるもの!」が選ばれました。



【久末デイサービスセンター】
左:古林 美重 中:加藤 久可
右:門間 一樹

平成29年度 社会福祉法人奉優会入職式

平成29年3月31日(金)、特別養護老人ホーム 白金の森にて平成29年度社会福祉法人奉優会入職式が開催致しました。EPA職員含む計45名の職員が、めでたく奉優会に入職しました。



一人で悩みを抱える人に寄り添う ゲートキーパーを育てる

NPO法人 ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香

NPO法人ゲートキーパー支援センターは、ゲートキーパーの役割をお伝えする活動をしています。ゲートキーパーは、職業や資格の名前ではないのです。「自殺するしかない」と追い詰められている人が出しているサインに気づいて声をかけ、話を聴いて必要な支援につなぎ見守る人のことです。皆様にも是非ゲートキーパーの輪に加わっていただきたいと思っています。

サインに気づく
元気がない、眠れない、何もかも楽しくないなどのうつ的な症状、お酒の量が増えるなど、いつもと違う様子が気になったら話を聴きます。「消えたい」「早くお迎えがきてほしい」「長く生きすぎた」「家族に迷惑かけたくない」などと言われたときは、言葉を怖がらず、隠れている辛い気持ちをお聞きしましょう。

声をかけ、話を聴く
悩んでいる事に気づいたら、「どうしたの?」「何か困った事ある?」と声をかけます。温かい雰囲気、うなずきながら聴きます。自分の考えと違って、お説教したり考えを押し付けたりしないようにしましょう。「今日は話を聴けてよかった」などねぎらう言葉も添えて下さい。誰にも相談できなかった辛い気持ちを打ち明け

Profile 竹内 志津香(たけうち しづか)
平成24年12月、NPO法人ゲートキーパー支援センターを立ち上げて自殺防止の支援に乗り出した。設立以来、ゲートキーパーの養成講座は200回以上開講し、その受講生は累計で5000人(平成29年5月8日現在)を超えている。全国でも専門に支援している法人は稀である。
<http://www.monban.net/>

てくれたのですから、否定したり、話をそらしたり、「きっと解決する」などの安易な励ましをするのは禁物です。心の痛みを受け止めましょう。

危険度をはかる
うつ病にかかる、自殺を考えるようになることがあります。眠れているか、食欲があるか、生活を楽しめているかなどうつ的な症状の有無を聴きます。アルコールの影響や孤立していないかなども聴きます。そして自殺の危険性があると感じたら「今、自殺を考えているの?」と率直に聞いてみましょう。

支援につなぎ、見守る
自殺の危険性があると感じたら一人で抱え込まず、つなぐ事が大切です。職場なら上司や同僚に相談してチームで支えます。悩んでいる人のご家族や民生委員さんなど地域にもつなげていきます。つなぐときはなるべくご本人の承諾を得るようにします。そして、つないだ後も見守りましょう。

自分を大切に
奉優会の皆様のお仕事は、なくてはならない尊いものです。しかし、自分のことが後回しになることがあります。笑顔でサービスを続けていくためには、まずは自分を大切にしてください。時には好きな事をする、ゆっくりする、自分を許す、辛い時は人に相談するなどして下さい。自分が楽になれば、周りにも笑顔が広がっていくのです。



For You NEWS 2017 May Vol.5 2017 5月30日発行 社会福祉法人 奉優会(ほうゆうかい) 法人事務局 154-0012 東京都世田谷区駒沢1丁目4番15号 真井ビル5階 TEL:03-5712-3770 FAX:03-5712-3771 <http://www.foryou.or.jp/>

より良い地域福祉をめざして。

私たちは地域の方々が安心して住み続けられるよう、さまざまな工夫を続けています。その中で、各事業所の実施している活動の様子を事例でご紹介いたします。



私
が
ご
報
告
し
ま
す!

▶▶▶ 東京都江東区
枝川地域包括支援センター
(枝川長寿サポートセンター)
保健師 杉井 麻樹子

地域包括ケア ～江東区枝川地域包括支援センターの取り組み～

■ 総合事業の卒業生で作った自主グループ“枝川元気くらぶ”

江東区で平成28年4月より始まった総合事業の中の1つである短期集中サービス(リハビリ専門職の指導の下、3～6か月で生活機能の改善を目指す)に昨年通われていた方から、卒業後、同じように集える場所がないか?という相談がありました。その相談がきっかけとなり、卒業生の受け皿として自主グループ「枝川元気くらぶ」の立ち上げ支援が始まりました。

1 場所や体操の先生、参加費もみんなで決めたい!

枝川地域包括支援センターは地域の関係機関に協力を仰ぎ、訪問看護ステーションアオアクの理学療法士やグランチャ東雲の体操の先生といった方々に協力していただきました。枝川包括はこのような地域資源の輪を繋ぎ広げ、くらぶのバックアップをしています。

2 地域の方々が気軽に来られる集いの場所にもしたい!

総合事業の卒業生だけでなく、地域の方も参加できる様に区役所、町内会、自治会などへチラシを配布し、広報活動を行いました。

3 平成29年1月16日“枝川元気くらぶ”スタート!

枝川元気くらぶは、毎週月曜日、10時～11時30分、枝川西集合所で開催(会費:1,000円/月)。8名で始まり、現在(5/23時点)は15名と徐々に増え、卒業生以外の地域の方の参加者も増えてきています。



INTERVIEW

近隣の方々との交流や、友人が増えたことが嬉しい。
枝川元気くらぶ 代表: 黒島三夫さん



夫婦で、ここに通えることが日々の楽しみに繋がっています。
中島 孝さん・中島 真智子さん



座ってできる体操なのに、期待以上の効果を感じています。皆と寄り添いながら通えることも、とても嬉しいです。
玉橋 和子さん



奉優会の

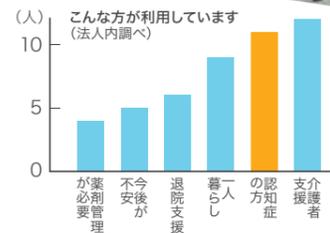
取り組み

奉優会が目指す「**新型小規模多機能サービス**」
～ご利用者の在宅限界点を引き上げる～

小規模多機能居宅介護って知っていますか?

平成18年介護保険法改正に伴い、地域の高齢者に「通い」「訪問」「宿泊」を24時間体制で支援するサービスです。

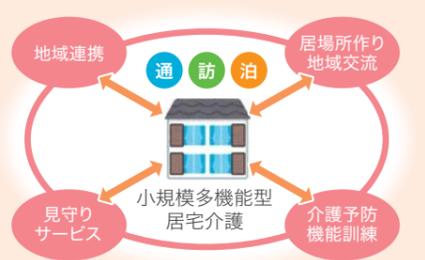
通い	訪問	宿泊
一人ひとりの要望や必要に応じて、プログラムを組み合わせることができ。ご希望に合わせ、時間の延長短縮も可能です。	安否確認、服薬介助、調理や買い物援助、ゴミだし等をおこないます。	一人であるのが不安な時や、家族の体調不良時、緊急時等、都合に合わせて宿泊サービスを提供します。



在宅限界点を引き上げる!「奉優会の小規模多機能型居宅介護」!!

奉優会では、介護者支援、認知症の方、一人暮らしの場合小規模をご案内し、実際に介護度が低い方から高い方までご利用されています。(介護度が要支援1～要介護2までのご利用者が52%、要介護5は10%)

小規模多機能型居宅介護を拠点にご利用者の「きょういく・きょうよう・きょうせい」「今日行くところがある」「今日様子をみてもらう」「今日用事がある」「今日生活できる」を支えと共に、働いているご家族の介護生活も支え、在宅での見守りと看取りの支援で、在宅限界点を引き上げています。24時間365日切れ目のない支援を「安心」とともに医療とも連携し、地域の「つなぎ役」として地域住民と一緒に活動し、ご利用者とそのご家族の暮らしを支えます。



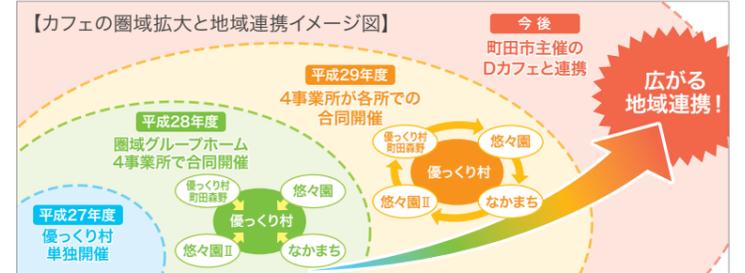
認知症対応 ～地域のグループホームの共生社会づくり～

■ 地域の4施設合同カフェ「森のお茶屋さん」にいらっしゃい!

優っくり村町田森野では認知症カフェ「森のお茶屋さん」を開催しています。一昨年度までは優っくり村だけの小さな開催でしたが、町田市の圏域グループホーム連絡会にて、他法人が運営されているグループホーム「悠々園」「悠々園Ⅱ」「なかまち」との合同開催が提案され、4事業所が優っくり村に集まり合同で行うこととなりました。そのため平成28年度からはより広い圏域での取り組みへと発展しています。加わった3事業所からは総勢6～10名ほどのご利用者が集まり、優っくり村町田森野のご利用者と一緒に「森のお茶屋さん」を盛り上げています。

「森のお茶屋さん」では、毎回それぞれのグループホームでご利用者が作ったスイーツを優っくり村に持ち寄り、カフェにいらっしゃる地域のお客へ提供しています。グループホームには様々な認知症状の方がいますが、各々がお菓子作り、会計や接客、チラシ配りなど、認知症があってもご自身に出来る事、得意な事などを活かして参加し、全員でお迎えています。

今後は4施設持ち回りの開催や、町田市主催の『Dカフェ(出張認知症カフェ)』と連携を深めていくことで、より地域に発信できる新しい体験をしていけたらと考えています。『森のお茶屋さん』は奇数月の第三土曜日、14時から開催しています。お近くにいらした際には、ぜひお立ち寄り下さい!



社会福祉法人悠々会 悠々園ホーム長 小泉 沙矢香さん

いつも楽しく参加させてもらっています。メニュー作りに悩んだり慣れるまで緊張することもあります。これも含めてよい経験になっています。これからも奉優会さんと一緒に盛り上げていきたいです。



社会参加活動 ～広がる社会参加の輪～

奉優会では地域の交流の懸け橋となるべく様々なイベントを開催しております。皆様の社会参加を支援し、地域の活性化に寄与します。

■ 手芸がつなぐ笑顔の輪「霧サポ手芸班」

開催場所: 横浜市霧が丘地域ケアプラザ



横浜市霧が丘地域ケアプラザでは、たくさんの自主事業を地域のボランティアさんに支えられ運営しています。その中から今回は「霧サポ手芸班」の活動をご紹介します。

「霧サポ手芸班」では、横浜市緑区に隣接する旭区の横浜市立若葉台特別支援学校(以下「横浜わかば学園」)に通うお子さんが使用するウレタンクッションのカバーや布教材を作成しています。

月に2回活動し、布えほんや布人形づくり講師の原田さんを中心に毎回5～6名で、肌触り、持ちやすさ、重さ等を工夫して作業します。お手玉づくりでは、中に入れるビーズの量や形、マジックテープを付ける位置や数も話し合っています。肢体不自由のお子さんが小さな力でどのような持ち

方でもつかむことができるように、「つかめた」「投げた」「くっついた」と、「できる喜び」が感じられるように考えられ、愛情がたくさん詰まった作品ばかりです。

ボランティアは、30歳代から80歳代の方。65歳以上の方は「よこはまシニアボランティアポイントカード」制度を活用し楽しみながら活動しています。



これまでの作品寄贈を通じ、横浜わかば学園の子ども達からお手紙が届きました。これをきっかけに霧サポ手芸班では、学校に訪問し、子ども達がどのように活用しているのかを見学しました。

手芸がつなぐ笑顔の輪、得意なことや趣味を活かし、仲間づくりや生きがいづくりもできる社会参加活動です。これからも、ボランティア活動が長く続けられるように活動を支援していきます。

横浜市立若葉台特別支援学校(横浜わかば学園)との関わり

横浜市霧が丘地域ケアプラザでは、横浜わかば学園高等部の現場実習を受け入れています。1年生では働くことの体感、2年生では自分の適性の見極め、3年生では就労に繋がる学習、となっています。

キャリアアップ相談会には職員が学校に出向き対応しています。

また、ゆうゆう霧が丘&社協ふれあいまつりでは、学校で作ったパンや菓子販売の関わりもあります。

現場実習を経て、今年度は初めて採用にも繋がりました。

4月に霧が丘デイサービスに入職した武藤紫音です。仕事は大変だけど楽しいから頑張りたいです。



ボランティアをしたい人とボランティアを募集したい人をつなぎます!

シニア向けボランティアコーディネーターサイト
YELL (エール)

<https://www.foryou-yell.net/>



働きやすい 職場環境 の取り組み



奉優会は女性の活躍を推進しています！

今年度も育休中の多くの女性職員がお子さんの保育園入園を機に復職しました。本年度現時点で、**復職率は100%**！一人も退職者を出すことなく、仕事復帰して頂きました。

毎号、育児をする女性をバックアップする奉優会独自制度を利用して復職した職員を紹介しています。奉優会職員のすごいところは、こういった制度を活用し短時間勤務で母や妻としての生活も維持しつつ、職場でも部長や課長など重責を担う役割につき、成果をあげている職員が数多くいることです。今回もその一例として、復職した職員から仕事と生活の両立についてお話を聞いてみました。

特別養護老人ホーム 白金の森

福祉系の大学を卒業後、奉優会に就職しました。日々やりがいを感じながら働いています。主人は同じ職場で出会った先輩です。第一子を妊娠した際、職場に報告すると勤務形態を見直していただきました。途中でドクターストップがかかってしまい、長期のお休みをいただくことになり、そのまま産前休暇・育児休暇に入りました。

長期休暇中も人事部や職場からこまめに連絡をいただき、復帰時にも不安なく復帰することができました。育児休暇明けは、時間短縮で9時から16時まで働き、保育園へ迎えに行っています。同僚の皆様は子どもの行事や体調不良なども考慮していただき、優しい言葉もかけてくださいます。子育てしやすい環境で働いています。

現在、第二子を妊娠中です。勤務形態を見直していただき、見守り業務中心で安心して働くことができています。

介護職 遠藤 めぐみさん

優っくりグループホーム喜多見

産休・育休をいただき去年の5月に復職をしました。当時まだ保育園が決まっておらず、優っくり村鎌田で自主保育をしながら復職することを許可していただきましたが、復帰前・直後は不安ばかりでした。ですが、上司や事業所のみなさんの理解と協力があり、ここまでやれています。

復職後キャリアアップの機会もいただき正直とても迷いましたが、奉優会の働くママたちの背中を見て、私も挑戦してみよう！と強く想いました。

1歳4カ月の息子は今年の3月から保育園に通い始めました。本当にこれでいいのかなとまだ悩む日もあります。私にとって仕事は大切です。そして、それ以上に大切なのは家族です。日々、職場の仲間に助けられながら、私も子供も成長しています。

介護職 高屋 貴恵さん



職員の多様性を尊重する職場

ダイバーシティ

奉優会では、性別、年齢、国籍、障がいの有無などだけでなく、キャリアや働き方などの多様性も含めた多様な人材を尊重し、その方々の能力が最大限発揮できる環境を整えています。

多様な人材

EPA介護福祉士候補者受入 ▶ 経済連携協定(EPA)に基づき、奉優会では平成25年度から受入れを開始し、現在はインドネシア・ベトナムから33名を受入、支援し、平成28年度に第1期生が1名、介護福祉士を取得しました。EPA介護福祉士の転職者も3名受入、1名は主任として活躍しています。



障がい者雇用 ▶ 奉優会には、身体障がい者7名、知的障がい者11名、精神障がい者16名、合計34名の方が、24の事業所でそれぞれ活躍しています。今後は、在宅勤務制度やキャリアパス基準の作成とそれに報酬を連動させた仕組みも検討中です。

多様な職場風土や働き方の仕組み



「子育てサポート企業」として厚生労働省より認定。奉優会では、4つの子育てサポートで支援しています。

- | | |
|-------------|--------|
| for優キッズサポート | 時短延長勤務 |
| ママさんサポートブック | 定期健康診断 |



厚生労働省が、仕事と介護を両立できる職場環境の整備促進に取り組むことを示すマークを作成。奉優会はこのマークを取得、2つのサポートで支援しています。

- | | |
|--------------|------------|
| For優ケアサポート制度 | ウェルカムバック制度 |
|--------------|------------|

活力ある人材

平成30年度(2018年3月卒) 新卒募集!

“高齢者が好き”という気持ちで、この仕事への第一歩 多彩な専門職の先輩たちが知識や技術をゼロからお教えします。

奉優会のここが違う!!

年間休日**122日!**

サークル活動が盛ん!

多彩なキャリアプラン!

充実した研修制度!



■ 法人説明会 随時開催!

・管理本部(世田谷区駒沢)

■ 施設見学会 随時開催!

- ・等々力の家(世田谷区等々力)
- ・白金の森(港区白金台)
- ・マイホームはるみ(中央区晴海)
- ・奉優の家(足立区佐野)
- ・かわいの家(横浜市旭区)

連絡先 人事部 人事課 新卒採用担当

TEL:03-5712-3770

E-mail:jinji@foryou.or.jp

HP: <http://kaigo.foryou.or.jp/graduate/>



応募お待ちしております!



奉優会で働く



奉優会は様々な高齢者福祉事業から地域福祉事業へ展開しています。地域福祉で私たちと一緒に働きませんか。
今号は奉優会の高齢者福祉事業のひとつ「高福事業部」とそこで働く職員をご紹介します。

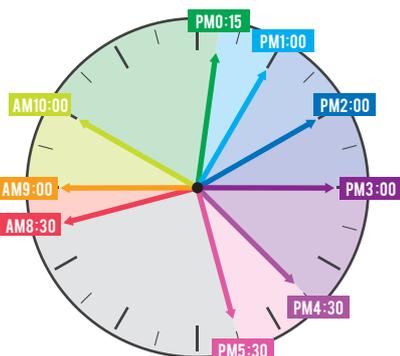
高福事業部 紹介

高齢者センターは地域の元気な高齢者が通う施設です。主に高齢者の介護予防やコミュニティ活動の推進を行っています。無資格未経験大歓迎です。一緒に地域を盛り上げましょう!!

高齢者センター(老人福祉センター)は老人福祉法や各自治体の条例に基づき設置されている施設です。主に地域の60歳以上の高齢者に対し、健康増進や趣味教養の向上及びレクリエーションを行っています。

1日の業務スケジュール

西新宿シニア活動館 瀬藤 尚文



やりがいのある
仕事です!



- AM8:30** 出勤
 - ・開館準備
- AM9:00** 開館・事業準備
 - ・利用者対応
 - ・ボランティア講師対応
- AM10:00** 事業開始、事業見守り
 - ・開始、終了の挨拶
 - ・事業の見守り
 - ・次の事業準備
 - ・事業日誌記入
- PM0:15** フォー・ユー体操
 - ・毎日の体操
- PM1:00** 休憩
 - ・昼食
 - ・自由時間
- PM2:00** 事業見守り
 - ・ボランティアが主体として開催している体操事業の見守り
- PM3:00** 利用者対応・事務作業
 - ・企画書/報告書
 - ・HP作成
 - ・新規講師依頼
 - ・電話対応
- PM4:30** 退勤準備
 - ・夕礼
 - ・館内巡回
- PM5:30** 退勤

キャリアアップ経緯

西新宿シニア活動館 館長 井上 麻美

平成20年4月	豊玉高齢者センター	入職 契約C職員
平成21年4月	豊玉高齢者センター	STEPUP! 契約B職員
平成22年4月	豊玉高齢者センター	STEPUP! 正職員
平成23年4月	白金いきいきプラザ	STEPUP! マネージャー 主事・主任
平成28年4月	西新宿シニア活動館	STEPUP! 館長、主任

西新宿シニア活動館では「地域の担い手を育み、地域とともに成長する」をコンセプトに、日々運営しています。

今年度も新宿地域の包括支援ネットワーク機能の強化に注力し、見守りの必要な方を地域が協働して支えられるよう、地域の皆様とともに取り組んでいきたいと思っています。



高福マイスター

奉優会高齢者センター総合職マイスター(高福マイスター)とは…

正職員、契約職員、または有資格者、無資格者を問わず全ての職員を対象にした、高福事業部内の資格です。総合職に必要な知識や技能を「心・技・体」の3項目に分け、それぞれの項目で設定された基準を達成した職員には、金・銀・銅のピンバッジと賞状を授与します。このマイスター制度に参画することで、職員の知識・技術の向上やモチベーションアップを図ります。

29年度からは昇給や時給アップ等に反映させていく予定です。

マイスター表彰制度のねらい ① 職員のモチベーションアップ ② サービスの質の向上 ③ 新しい人事評価制度の構築

心 ホスピタリティ

「ホスピタリティ検定」過去問題から抜粋した筆記テストと、接客対応力をロールプレイを通じて評価

技 社会福祉の基礎知識

社会福祉基礎知識(社会福祉士国家試験テキスト等より)や個人情報保護、緊急対応、介護予防等に関する筆記テスト

体 業務における実務実績

① 事業企画書/報告書 ② 状況報告書/ひやりはっつ ③ 研修報告書 ④ 効果測定実施事業 ⑤ マニュアル作成等の取組みを評価

Pick Up!

求人
内容

所属:高福事業部
勤務先:港区・新宿区・練馬区・杉並区目黒区・江東区・横浜市
内容:区市立の施設で企画運営
TEL:03-5712-3770 管理本部人事課

お電話
ください!



求める
人材

・情熱をもっている人
・笑顔が素敵な人
・何事にも挑戦できる人
・人と接するのが好きな人
・前向きな人 ・心優しい人

奉優会求人サイト



詳しくは
こちらへ!

<https://kaigo-foryou-job.jp/>